

「東京の将来の医療～グランドデザイン～」に基づく医師確保の方向性  
(令和元年11月12日時点)

資料5-3

I 高度医療・先進的な医療提供体制の将来に渡る進展

項目	課題	内容
1	研修体制の充実	専攻医が希望する質の高い研修を受けられるようにするとともに、医療提供体制に深刻な影響を及ぼすことのないよう適切な制度運用を図ることが必要
2	専攻医定員数の確保	都において今後見込まれる医療需要の増加や、都内医療機関が担っている医師の派遣機能等に鑑み、専攻医の定員数及び採用者数の削減が行われないよう国、一般社団法人日本専門医機構に対し要望

II 東京の特性を生かした切れ目のない医療連携システムの構築

項目	課題	内容
1	救急医療の充実	救急医療の将来予測は現状の1.7倍になっており、救急を増やさない仕組みを作るとともに、救命救急センター、病院診療所における救急医療を担う医師の育成が必要 高齢者のための救急医療需要は年々増加、その内容も高度化、多様化しており、柔軟に対応できる医師の育成が必要
2	小児医療の充実	小児救急を担う医師の育成が必要 医療的ケア児を含む在宅医療を担う小児科医師の育成が必要
3	周産期医療の充実	リスクに応じた妊産婦・新生児への対応を行う医師の確保・育成が必要
4	へき地医療	へき地の医療機能を維持するため、計画的かつ継続的な医師確保等の取組みが必要 へき地での診療には、幅広い対応が求められるため、ICT、5Gなどを活用した診療支援や、専門医療や高度医療を担う医師の派遣等が必要
5	災害	多様化する災害に対応できる災害医療コーディネーターの育成が必要

III 地域包括ケアシステムにおける治し、支える医療の充実

項目	課題	内容
1	かかりつけ医	日常的な健康管理等を行い、必要な場合に専門的な医療につなぐ役割を担う、かかりつけ医の育成が必要
2	総合診療医	認知症をはじめ複数の疾患を抱えながら地域で生活する患者の医療ニーズに的確に対応していく総合診療医の育成が重要
3	公衆衛生医師の確保	自治体で保健医療福祉の幅広い分野に携わり地域医療や健康づくりを図る公衆衛生医師(行政医)の確保が必要
4	地域で公衆衛生を担う医師の育成	予防接種、学校医や産業医など、地域住民の健康づくりを支える公衆衛生を担う医師の育成が必要
5	検案・解剖医の確保	疾病の予防、事故の再発防止に役立つよう、高度な専門知識を有する検案・解剖医の確保・育成が重要

IV 安心して暮らせる東京を築く人材の確保・育成

項目	課題	内容
1	働き方改革	医師の勤務実態の把握を行うとともに、医師の健康への配慮、地域医療体制の確保について検討 大学病院や救命救急機能を有する病院等、特例水準の適用を受ける可能性のある医療機関における医師の働き方改革に向けた検討
2	都民への普及啓発	患者が症状に応じた適正な救急医療を受けよう、#7119救急相談センターや#8000子供の健康相談室(小児救急相談)を都民に普及啓発
3	医師確保策	医師奨学金制度(地域枠)、地域医療支援ドクターなどの医師確保策の検討が必要